

チャレンジ 『challenge』



令和4年9月5日
文責 安井 仁

思いを形に その1 ～人権作文を通して～

先週の火曜日に各学級で人権作文発表会が行われました。コロナ禍での生活で感じていることやいじめについて、障がい者や子どもの権利について、自分や他人の個性についてなど、さまざまな視点で人の権利について考え、作文にしたものを発表していました。

堂々と発表している生徒もいれば、人前に出ると緊張したり、恥ずかしくなったりと苦手意識を持っている生徒もいます。苦手な理由としては、意見を言っても間違っているかもしれないとか、こんなこと言ったらおかしいと思われるかもしれない、全然分からないなどあるでしょうが、要するに自信がないのだと思います。これは生まれ持った性格もありますが、中学生、高校生、社会人と成長していくうえで変わることもありますし、自分で変えていくことができます。私自身、遠い昔の中学校時代を振り返ってみると、自信がなく、人前での発表が苦手でした。実をいうと今でも大勢の前で話をするには得意ではありません。ではどうやって人並みに話ができるようになったかを考えてみると特別なことはしてこなかったように思います。強いて言えば、その時々に関心しなければいけないことをやってきたということです。自分のしなければいけないことは、中学生生活に当てはまると、日直の司会や係・委員会の連絡などです。こういった自分に与えられたべきことを、自分なりに挑戦していくことで少しずつ変わっていくのではないのでしょうか。

そして、もう一つ大切な要素があります。それは聞き手の存在です。周りの人がしっかり聞いてくれるという安心感があるからこそ、思いを形にして届けられるのです。

人権作文発表会という特別な時間では、みんな真剣に発表し、そしてそれを真剣に聞いている姿が見られました。特別な時間だけでなく、普段の授業や学校生活にもつなげてほしいと思います。今後も聞く力を育てつつ、話す力も育てていければと思います。ご家庭でもどんどん話を聞いてあげてください。



台風季節

これから台風が発生しやすい季節となります。現在も台風11号が発生しており、鳥取への影響も懸念されます。台風による岩美中学校における臨時休業のガイドラインは以下の通りです。(文書配布済み)

朝5時50分の段階で以下の場合を基準とする。

- ① 特別警報の場合
- ② 台風接近に伴う警報のうち「大雨警報（土砂災害・浸水害）」「洪水警報」「暴風警報」が発表されている場合

上記以外の警報は状況を協議して臨時休業を検討することになっています。お知りおきください。

思いを形に その2 ～運動会学級旗を通して～



〔学級旗展示用〕

1年 1組 学級旗責任者: 小田中 耕 堀 隼大

★学級目標

みんなが助け合える元気で明るい笑顔の輪

★学級旗についての説明・紹介

1年1組は明るく元気なクラスです。この学級旗には、その明るさと元気を活かし協力して全力で「PLAY」し、全力で「YELL」するという意味があります。
私たちの学級旗で注目してもらいたいところは、中央にある重なった糸です。これは1年1組が協力してこうという思いがあります。
今回工夫した点は、色と色の境界線をはっきりさせて、色を強調させたところです。
運動会では、全力でPLAYし全力でYELLして盛り上げていきたいです。



〔学級旗展示用〕

1年 2組 学級旗責任者: 谷本 舜典 橋本 めい

★学級目標

SPECIAL

★学級旗についての説明・紹介

1年2組は、男女の仲が良く、明るく団結力のあるクラスです。学級旗にこめた意味は虹色に輝いて、未来の空を飛ぶような意味も含めて虹の空を描いています。
学級旗の注目してほしいところは、Iの部分です。
Iがうさぎになっている理由は、担任の木谷先生が好きな動物に見ているからです。
学級旗制作では、各、色の担当で下書きも書いたりと、分担しながら作業したり、虹をぬるところなど、工夫したり、協力したりしました。



〔学級旗展示用〕

1年 3組 学級旗責任者: 山本 康華 加賀田 心春

★学級目標

一致団結 ～28人で明るく楽しいクラス～

★学級旗についての説明・紹介

私たち1年3組は、みんなが元気で楽しいクラスです。
学級旗に書いてある「えぐ俺ら最強やな」という言葉は、3組の担任である青山陽樹先生の口癖の「えぐお前最強やな」を少し変えたものです。この学級旗には「3組のみんなで一致団結して最強を目指す」という意味がこめられています。
私たちの学級旗で注目してほしいところは、中心にある握りこぶしと字体です。てきただけカラフルにはせず、統一感を出した握りこぶしと最強の文字を大きく書くことでその2つを目立たせることができ、バランスの良い学級旗にすることができたと思います。ぜひ、ご覧ください！